

チシマカニツリ

Trisetum sibiricum Rupr.

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 日本における分布域は狭く、九州では本県だけに分布し、主として火山山頂帯の草原に希産する。森林遷移による生育環境の変化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布 九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 北海道 本州 四国 九州(大分)
欧亜大陸～アラスカ

生育環境 低山地や火山山頂帯の草原。

現 状 ササ草原やススキ草原に生え、群生することは少ない。草原の森林化により、生育状態の衰退した所がある。

備 考 北方寒冷地要素の植物。本県は、分布の南限域にあたる。

コオニシバ

Zoysia sinica Hance

イネ科
Gramineae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 全国的には分布域は限られる。本県では「豊後水道域」に偏在し、生育地は少ない。港湾整備や砂浜の改良工事、植林による影響で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布 豊後水道域

分布域 九州(大分・鹿児島) 沖縄
台湾 中国・中国(東北部)

生育環境 海岸の砂浜や岩場。

現 状 確認される生育地は少なく、海岸の道路工事などで消滅した所がある。

備 考 暖地植物。

イトテンツキ

Bulbostylis densa (Wall.) Hand.-Mazz.
var. *capitata* (Miq.) Ohwi

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II

選定理由 県内では岩場や火山性草原に生育する。植林や野焼きの停止などによる植生遷移、畑地や人工牧野などの土地改変で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地，豊後水道域

分布域 本州(中部地方以西) 四国 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)，
沖縄
マレーシア

生育環境 低地から山地の日当たりのよい草原や岩場。

現 状 草丈が低いいため、植生遷移の進行や土地改変により、消滅した生育地が多い。